厚生労働省 ろうきょうオンラインセミナー

小さな店が、
地域の暮らしを支える

労働者協同組合ヤマコープの事例

労働者協同組合ヤマコープ　代表理事
マヤソン・ケビン・アール

長野県下高井郡山ノ内町



山ノ内町にある、二つの顔

観光地として

湯田中・渋温泉
志賀高原
スキーとスノーモンキー

国内外から多くの人が訪れる

暮らしの場所として

- 母国の食材が手に入りにくい
- 地元の生産者が売る場所は限られる
- 住民同士が出会う場所が少ない

観光を支える外国人住民も、ここで暮らしている

3人が、働く人であり経営者

労働者協同組合ヤマコープ

2025年11月開業　｜　湯田中駅近く

01

出資する

3人全員が組合員

02

経営する

仕事と運営を話し合う

03

働く

日々の店を自分たちで担う

「みんなが起業する」意思決定

カフェ・バー案より、少ない投資で始められるオンラインショップを先に

小さな店から始めた

多国籍食材と地元産品を扱う小売店

営業時間

11:00〜20:00

営業日

年中無休

組合員

3名

場所

湯田中駅近く

取り扱うもの

タイ・ミャンマー・ベトナム・ネパールなどの食材
地元の生産者から預かる農産物・加工品



お客さまの声で、品ぞろえが育つ

いちばんのお客さまは、タイの方々

店から一方的に決めるのではなく、
会話を重ねながら必要な商品を増やしている



声を聞く → 商品を探す → 棚に加える

豆類や調味料など、品ぞろえを拡充

輸入食品の表示や酒類販売免許など、
必要な手続きも一つずつ進めている

地元の小さな生産者に、売る場所を

商品を店に置き、売れた分を精算

委託販売手数料

生鮮農産物	15%
農家が製造する加工品	20%
その他の商品	25%

小さな生産者の販売先をつくり、
地域内の流通と交流を広げる





必要な情報を、届く言葉で

6言語

タイ語・ベトナム語・ビルマ語
ネパール語・英語・日本語

LINEでお知らせを配信

店の外にも広げる

**ゲストハウスなどと連携し、
多言語ポスターで観光客にも案内**

**SNS（Pixelfed）で、
店の日々の様子を発信**

情報発信も、地域の暮らしを支える仕事の一部

一つの店が、いくつもの役割を担う

買う・売る

母国の食材が手に入る
地元産品を販売できる

出会う

外国人住民が集い、話せる
旅行者と地域がつながる

ヤマコープ

知らせる

多言語で生活や店の情報を届ける

働く

自分たちで仕事をつくり、決める

小さな規模だからこそ、地域のすき間に合わせて役割を重ねられる

現場から

始めてみて見えた、四つの課題

01	**許認可と表示**	酒類販売免許や輸入食品表示には、専門家の力が必要
02	**季節による売上の波**	冬の観光シーズンがピーク
03	**少人数での運営**	3人で営業を続けるためのシフト調整
04	**制度の認知度**	「労働者協同組合」を知らない人や機関も多い

小さく始めやすい一方で、専門知識と地域の理解が継続を支える

労働者協同組合の可能性

小さな仕事をつなぎ、地域の未来をつくる

小さな仕事

地域に必要でも、一つだけでは事業にしにくい仕事

多様な働き手

一人ひとりが自分に合った形で仕事づくりに参加する

地域に残る成果

働く人の暮らしと、次の仕事づくりにつなげる

地域に必要な仕事を、地域で暮らす人たちが自分たちでつくる

ありがとうございました

労働者協同組合ヤマコープ　|　長野県山ノ内町